

物流関連機器の販売を行うジャロック（東京都中野区、0120・70・3810）が昨年10月にリニューアルオープンしたショールーム「ジャロックテクニカルトレーニングセンター」（HJTC、埼玉県杉戸町）には、同社が提案する先端ソリューションが随時追加されている。新しく入荷された製品・リニューアルした製品からピックアップして3回（上・中・下）に分けて紹介する。

件数の1割以上を占めている。ジャロックが提案する大風量低速回転(HVLS)大型ファン「リポリユーションファン」

ジャロック **上**

## HVLSファンで熱中症対策 倉庫や工場で体感5度低下

直観的に操作できるタッチパネル



リポリユーションファン

者の生産効率、作業環境を向上させることが可能。また、温度の低い冬季期間にも有効で、天井付近に滞留している温かい空気を下向きに吹くことで、地面と天井の間の温度を均一化させる。これにより、空調にかかるコストを20〜30%節約できる。



り、日本市場ではパイオニア的存在だ。扇風機約50台分の風量を1台でカバーできるうえに、最大風量での消費電力はヘッドライヤー1台分とエネルギーコストも低減できる。また、空気を循環させることで、室内の湿度むらやカビ・錆の発生を抑える効果もある。

は大きなブレードで優しく空気を循環させ、倉庫・工場内の熱中症対策に貢献する。昨年の夏にはコン

トロールパネルをリニューアル。一つのパネルで最大24台のファンをより直観的に操作できるようになった。

熱中症による救急搬送の件数は約9万5千件(18年)、約7万件(19年)と高い水準で推移している。中でも工場などの作業現場は毎年の発生

全世界で2万台以上の販売実績があ